

中間市第 5 次総合計画（案）に関する意見・質問票に対する回答（令和 6 年度第 2 回審議会）

No		頁	質問・意見	回答	修正前	修正後
1	パブ コメ	17	将来都市構想 今回の見直しにより、大きく変わったのは将来都市構想が新たに加えられたことでしょうか。このことにより、中間市がめざす将来の姿というものが見えてきたように思えます。中間市はコンパクトなまちという記載がありますが、基本的にはなんでもそろっているし、利便性のよいまちだと思っていますので、私は大変共感しています。ないものねだりをしてしまうのは人間誰しもあることだと思いますので、本当にこのまちに必要なものを見極めてまちづくりを進めていただきたいと思います。 学校の再編や公共施設の統廃合、跡地活用など、さまざまな課題があると思いますが、中間市にしかない魅力、中間市だからできることを存分にアピールして是非「夢がかなうまち なかま」を目指してください。	貴重なご意見ありがとうございます。全国的に人口が減少していく中で、いかにしてこのまちに魅力を感じていただくか、そのためには何をするべきかということをしかりと考え、方向性を定めた上でまちづくりを進めていかなければなりません。ご指摘いただきました学校の再編や公共施設の統廃合、跡地活用だけでなく、本市の抱える課題はたくさんありますが、みなさんが住んでみたい住んで良かったと思っていただけるよう、コンパクトなまちを本市の一つの魅力として将来にわたって持続可能なまちづくりを進めてまいります。	—	—
2	パブ コメ	24	5. 土地利用構想 「九州自動車道、北九州都市高速道路、国道 3 号線、国道 200 号線など周辺都市への連絡道である主要地方道及び一般県道の沿線地域については、」とありますが、国道は主要地方道ではなく、中間市に九州自動車道や国道 3 号線等が通っているという風に見えてしまいます。 そこで、「周辺の自治体との連絡道である主要地方道及び一般県道の沿線地域については、」としてはどうでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。誤解を招いてしまうような表現であると判断いたしましたので、ご指摘いただきましたような表現に変更することについて、審議会に諮ってまいります。	市街化区域は都市的な土地利用を図りながら、居住機能や都市機能の誘導により、コンパクトシティの形成を推進します。 市街化調整区域であっても本市の置かれている地理的な特性などを活かす視点に立ち、<u>九州自動車道、北九州都市高速道路、国道 3 号線、国道 200 号線など周辺都市への連絡道である主要地方道及び一般県道の沿線地域については</u>、社会や地域の状況に対応して、農業との調整を図りながら、都市計画制度を活用し、地域の活性化につながる土地利用を図ります。	市街化区域は都市的な土地利用を図りながら、居住機能や都市機能の誘導により、コンパクトシティの形成を推進します。 市街化調整区域であっても<u>九州自動車道、北九州都市高速道路、国道 3 号線、国道 200 号線などへのアクセスが非常に良いという</u>本市の置かれている地理的な特性などを活かす視点に立ち、<u>周辺の自治体との連絡道である主要地方道及び一般県道の沿線地域については</u>、社会や地域の状況に対応して、農業との調整を図りながら、都市計画制度を活用し、地域の活性化につながる土地利用を図ります。

3	事務局修正案	34 ～ 35	施策体系と重点分野、地方創生分野の一覧 最右列の「戦略」欄には、第2期中間市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる基本目標に合わせ重点施策の番号を付していますが、当該戦略は今年度に改正する必要があるため、重点施策の番号が変更となる可能性があることから「●」に修正したいと考えます。	—	【資料 1】参照	【資料 1】参照
---	--------	---------------	---	---	----------	----------